

令和6年度終業式

皆さんこんにちは。金曜日の競技大会お疲れ様でした。2年3組が結果として優勝しましたが、各クラスそれぞれが自分の力を発揮して大会を楽しんでいたのが印象的でした。

それでは今日で令和6年度が終了します。この1年を振り返ってみてどうですか。振り返り反省し、次にどうするか考えることはとても大切なことです。反省なくして、成長、進歩はありません。先生方も今年度の反省を行い、次に繋げて行きます。直ぐにできることと、時間がかかることもあります。成長、進歩に向かって努力して行くことが、これからの人生にとって大切です。人間は、気持ちさえあればいつでも変われると信じています。

さて、今年度最後の挨拶に向けて、今までの挨拶の内容をそれぞれ振り返ってみました。4月始業式の日には4点「挨拶・自分で限界をつくらない・目標は高く・いじめ」について、夏休み前には「失敗を恐れずにチャレンジすることの大切さ」について、後期始業式では「これからは先行き不透明で予測困難な時代 VUCA」について、冬休み前には「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する力としてのエージェンシー」についての話をしました。覚えている生徒はどれくらいいるかわかりませんが、私が校長として皆さんに伝えたいことでした。

生きるって本当に難しいことだと思います。何といっても育ってきた環境が人それぞれ違いますので、物事に対する感じ方、感覚が違います。当然、自分の思うようにはならないことも多く、時にはうまくいかないことも。そしてうまくいかなかったら人のせいにしたくなるのではないのでしょうか。でも、水高の生徒は、自分を我慢しながら、人に合わせるのが比較的できる生徒が多いと感じています。ただ、納得して我慢するのであれば良いのですが、不満を持ったまま我慢して人に合わせてしまうことだけは避けましょう。その後の関係がぎすぎすしていきます。人間です、言葉があります。コミュニケーションをしっかりと、自分の考えを伝え、生きていくようにしてください。自分の考え、思いは伝えなければ相手にはわかりませんが、その伝え方に対して注意して欲しいことがあります。それは、そのことが我が儘ではないのかどうか、相手を傷つけるような言葉を使っていないか。相手を配慮した伝え方がポイントです。

ちょっと重たい話になってしまったかもしれませんが、自分の思いを口に出して伝えることは大切ですので、苦手であってもそうしていきたいという気持ちを持ちながら、生活してください。そのうちできるようになります。日本人は、内に秘めることが多いですので、最近の言葉で言うとアウトプット、口に出すことを心がけてください。

最後になりますが、授業評価、学校評価アンケートの回答ありがとうございました。皆さんの回答を受けて、我々教員一同も改善しなければならないところは努力していきます。校則については、生き方を教える学校としての指導に理解してもらいたいことと、また、皆さんが楽しく学校生活を送ることができるよう話し合いながらともに考えていきましょう。

それでは、終わってみるとあっという間の春休みですが、時間を有効に使い新年度からの準備期間にしてください。